

# 戦 評

大会名 第15回 東北クラブバレーボール選手権大会『みちのくカップ』

期日：平成30年10月14日  
会場：CNAアリーナ★あきた

## 9人制男子決勝戦

黒 修 会 (岩手県)	2	$\left\{ \begin{array}{l} 21 - 18 \\ \text{---} \\ 21 - 13 \end{array} \right\}$	0	巖きたかみ (岩手県)
4年ぶり2回目の優勝				
試合時間 0 時間 48 分				

主 審 添田 尚志 (福島県)

副 審 浅妻 誠 (秋田県)

## 戦 評

岩手県同士の対戦となった9人制男子決勝は、開始直後から2番高野、13番高橋の連続サービスエースで波に乗った黒修会が大きくリードする。巖きたかみは、粘り強くボールをつなぎ、15番佐々木の緩急をつけた攻撃や11番伊藤のブロック、3番石川のサーブで徐々に追い上げ終盤2点差まで迫るも、黒修会3番藤原の速攻が決まり、第1セットを取った。

第2セットは、序盤は両チームとも主導権を握ることができず苦しい展開が続く。

しかし、岩手第1代表の黒修会が4番菊池のスパイク、7番泉のサーブで徐々にリードを広げる。対する巖きたかみも16番曾我の速攻や4番下田のスパイクで粘りを見せるが、黒修会は17番高橋が連続でスパイクを決めてリードを広げる。

その後もサーブを攻め切った黒修会が最後も6番板垣のサービスエースで勝利をつかんだ。

戦評者 武田 聡子 (秋田県)

東北クラブバレーボール連盟